

2021学生図書委員会 第4回活動

SDGs -環境保全-

10代からのSDGs

SDGsって何？私たちにどう関わるの？自分に今できることってある？という、SDGsに関する疑問が解消できました！この本は4章に分かれていて、1章ではSDGsの説明と飯山さんや中村さんの活動の紹介、2章ではこの本の監修者である堤さんと井筒さんの対談と大学生の小論文の紹介、3章では様々な職業や分野のSDGsへの取り組みの紹介と説明、4章ではSDGs達成時の話と監修者からのメッセージが主に書かれています。また、巻末にはSDGsの取り組みがわかる映画や本の紹介と、SDGsの根本である「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の前文、「SDGsの17のゴールと169のターゲット」全てが載せられています。題名に「10代からの」とあるように、SDGsについて初歩的なことが分かりやすく書かれているため、内容がスッと頭に入ってきます。SDGsに興味がある方はもちろん、SDGsを知らなかったという方にもオススメなので、ぜひ読んでみてください。

【文芸1_あいか】

SDGsとまちづくり

私が選んだ本は「SDGsとまちづくり」という本で、目標の11番を中心に町でどのような活動ができるか例をもとにまた、他の目標との兼ね合いも合わせた内容を紹介している本です。この本を読むことで街の中でSDGsにつながる活動ができどんどん伝播していくことができると感じこの本を選書しました。今回活動で、マップを作りましたが、目標ごとに絞り最後に全体を紹介する本とつなぐことで見やすくなるのではという工夫をしました。実際に見栄えはよくなった気がします。

【家政2_はつね】

ひと目でわかる地球環境のしくみとはたらき図鑑

今回私はLibrariEから選書しました。この本は国際関係や社会経済システム、科学技術など、地球環境の危機をもたらす原因を写真やイラストで視覚的にわかりやすく紹介している1冊です。自分が興味関心のある分野から気軽に読むこともできますし、最初からじっくり読んで知識を深めることもできます。現状を理解することはもちろん、今後私たちが何に取り組んでいくべきか？ということを考えさせられました。SDGs入門としてこれまであまり触れてこなかった方におすすめです。

【文芸4_なえ】

プラスチックフリー生活 今すぐできる小さな革命

題名の通り私たち人類がこれからどのようにしてプラスチックに頼りきりな生活から脱却してゆくかについて詳しく書かれた本であった。プラスチックの問題点や現在の世界のプラスチック削減に向けた動き、我々読者にもはじめることができるプラスチック削減へのアクションの起こし方など多くの学びが得られた一冊だった。

【文芸1_こころ】

大量廃棄社会

アパレルとコンビニの不都合な真実

流通論ⅠⅡの授業でアパレルとコンビニでの大量廃棄について触れ、その学びの延長としてこの本を選書してみました。段々豊かになっていく生活の中で見落としがちな廃棄問題について取り上げられています。特にアパレルの廃棄については誰もが大きく関わっている問題なので、この本を読んで自分なりの意識を深めていくべきです。

【ビジネス2_まるちゃん】

クジラのおなかからプラスチック

海洋プラスチックごみ問題についての本です。写真がついていたり、ていねいにわかりやすくかかれていたりする児童向けの本ですが、私たちが読んでも十分考えさせられる内容だと思いました。レジ袋が有料化し、プラスチックごみの問題が少し身近になりつつある今、この本を読むことで考えを深められると思います。

【文科 1_あんじゅ】

女という文字、おんなということば

ジェンダーに関する本です。夏に行なっていたSDGsに関する展覧会にあった、女編に関する展示を見て、それに関する知識を得たくなり、選びました。新しい目線からジェンダーについて考えられると思います。

【文芸1_みずき】

木を植える男

ポール・コールマン 4万2000キロ徒歩の旅

上流階級に関わる優雅で贅沢な暮らしを捨て、森林を守るため・戦争で犠牲になった人のため、徒歩で旅して木を植え続けるポール・コールマンの半生を描いたノンフィクション作品です。さまざまな困難にぶつかりつつも、決してあゆみを止めないポールからは「地球を守ろう」「平和のために」という強い意志が伝わってきます。この本をお供に、環境保全や平和について考えてみませんか？

【文芸1_りお】

SDGs入門

「SDGsとビジネスはどう結びついているのか」という視点で、SDGsの詳しい目標内容、SDGsに取り組むことによる企業にとっての利点が解説されています。SDGsと聞くと、環境問題や社会問題についての項目を思い浮かべる方が多いと思いますが、「一人当たりの経済成長させる」といったお金に関するターゲットもあるのです。SDGsへの取り組みがこんなビジネスにつながるのかと目から鱗の一冊です。

【文芸3_みわ】

未来を変える目標 SDGsアイデアブック

最近、至る所で目にするけれど詳細は分からないままだったSDGsについて、具体的なエピソードは勿論、写真や漫画も満載で疲れずに一気に読みできる一冊です。

【文芸2_あや】

SDGsの考え方と取り組みが これ1冊でしっかりわかる教科書

SDGsについてあまり詳しくないので、まずは入門書のつもりで選書しましたSDGsの掲げている目標はもちろん、なぜこれらの問題に取り組まなければならないのか、順序立てて説明されていて、とてもわかりやすかったです。企業向けに書かれたものではありませんが、学生でも理解しやすく、自分が社会人になって目を向けるべきところも学ぶことができると思います。中も全てカラーページで写真や表も使われているので、文字が沢山書かれている本に抵抗がある人にもおすすめです。

【文芸3_あみ】

アパレル・サバイバル

「アパレルサバイバル」この本ではアパレル業界が抱える”余剰在庫”という問題に焦点が当てられている。余剰在庫を焼却することで環境汚染につながるということが問題視されており、そういった問題に対するユニクロなど国内の企業や国外の企業の取り組みが紹介されている。また、なぜそこまで余剰在庫が発生してしまうのかという点についてもわかりやすく解説されているので内容に置いてかれることなく読み進めることができる。ビジネス本チックな内容だが衣服は皆が毎日手にするものであるため、身近なものからイメージしやすいテーマだと考えている。

【家政2_りの】

海洋プラスチック

この本は海の環境問題の中でもプラスチック問題に特化した内容です。今ではレジ袋が有料で、スーパーでの買い物はエコバッグであるのが当たり前の社会ですが、何故そうする必要があるので、身近なことから海の環境問題について考えることができます。

【文芸2_りさ】

江戸に学ぶエコ生活術

資源不足となっていた江戸における、無駄を出さない生活術について絵や図を使いながらわかりやすく説明されています。「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げる現代の私たちにも、こうした江戸の暮らしを参考にできる場面があると思います。

【文芸3_みづき】

食・農・環境とSDGs

SDGsについて、私も初めて触れた内容でとても難しかったけれど、まずこの本を手にとって基本的なところから知ってほしい。

【生活1_まさこ】

SDGs思考

この本では、未来とのつながりを主張していて、今ある課題に対して何をすべきなのか具体的にかかっている本です。メリットまで理解できて、積極的に取り組もうと思える本です。新しい本なので新型コロナウイルスについても取り上げられています。分量が多いので時間のある人におすすめです。

【国際2_しおり】